

## (2) 日利用者数及び最大時在園者数

前項までに整理した傾向から、本公園における機能強化区域における、無料施設の日利用者数等の諸元を以下のとおり整理する。

表 4.5 利用者数等諸元（機能強化区域）（令和2年度）

項目		値	備考
利用可能面積(ha)		9.58	敷地面積(拡張区域)×利用可能面積率 =10.8ha×0.887
日利用者数 (人/日)	休日	2,175	haあたり入園者数(休日)×利用可能面積 =227人/ha×9.58ha
	平日	1,389	haあたり入園者数(平日)×利用可能面積 =145人/ha×9.58ha
平均入園者数(人)		1,647	(日利用者数(休日)×年間休日数※+日利用者数(平日)×年間平日数)÷365 =(2,175人/日×120日+1,389人/日×245日)÷365日
最大時在園者数 (人)	休日	517	最大時在園者数(休日)×利用可能面積 =54人/ha×9.58ha
	平日	182	最大時在園者数(休日)×利用可能面積 =19人/ha×9.58ha

※年間休日数より設定

## (3) 年間利用者数の推計

推計した 1 日当たりの平均入園者数から年間利用者数を推計する。推計の前提となる指標については、以下のデータを使用する。

表 4.6 集中率の考え方

種別	集中率
1 季型公園	1/30(3.33%)
2 季型公園	1/40(2.50%)
3 季型公園	1/60(1.67%)
4 季型公園	1/100(1.00%)

※日本造園学会編、「造園ハンドブック」,p710,昭和 54 年

本公園は、日常的な公園利用が通年可能であるため、4 季型公園の最大ピーク日率を採用する。よって無料施設における年間利用者数は以下のとおり。

表 4.7 年間利用者数の推計

項目	値	備考
年間利用者数(人)	164,700	平均入園者数(人)×(1/集中率) =1,647 人×(1/1.00%)

## 4.4.4 公園全体の需要予測

以上より、公園全体の年間利用者数を以下のとおり推計する。

表 4.8 公園全体の年間利用者数の推計

区分	年間利用者数(人/年)	備考
機能強化区域	164,700	乳幼児及び子どもの屋内遊戯施設除く
乳幼児用屋内遊戯施設	35,500	周辺類似事例を基に推計
子どもの屋内遊戯施設	56,900	周辺類似事例を基に推計
公園区域	319,606	令和元年度有料施設利用者数 (軟式野球場除く)
合計	576,706	

## 4.4.5 奈良県における他の運動公園の利用者数と検証

奈良県における他の運動公園の利用者数及び本公園の年間利用者数予測について以下に整理する。1ha あたり年間利用者数を比較すると、鴻ノ池運動公園や橿原公苑と格差はなく、妥当な値であると判断できる。

表 4.9 奈良県内の運動公園利用者数

名称	面積(ha)	年間利用者数(人/年)	1ha あたり年間利用者数 (人/年・ha)
鴻ノ池運動公園	30.1	876,562	29,140
橿原公苑	10.2	238,618	23,394
まほろば健康パーク (整備後)	20.3(※)	576,706	28,409

※公園面積:11.8ha、拡張区域面積:8.5ha より

## 4.4.6 機能強化後の駐車場検討

本公園へ車で来園される人が機能強化後に増加すると仮定し、必要となる駐車台数を想定した。

## (1) 駐車台数の設定

下記に示す考えのもと、必要駐車台数を以下のとおり設定した。

- 指標の設定

- ① 最大同時滞在者数
- ② 自動車利用率
- ③ 同乗者数                      から、駐車場の規模を検討

- ① 最大同時滞在者数 = 入園者数 × 利用可能面積 × 回転率

- ・1ha あたり入園者数 : 227 人/ha(休日) ※都市公園利用実態調査(H26)より
- ・利用可能面積 : 9.58ha                      ※表 4.3 利用可能面積(ha)より
- ・回転率 : 1/2.1                                      ※自然公園等施設技術指針より

上記より、

$$\text{最大同時滞在者数} = 227 \text{ 人/ha} \times 9.58 \text{ ha} \times 1/2.1 = 875 \text{ 人}$$

- ② 自動車利用率

- ・自家用車利用率 : 78.7%                      ※まほろば健康パーク利用者アンケート調査(令和2年)より

- ③ 同乗者数

- ・同乗者数 : 2.86 人                                      ※近畿圏パーソントリップ調査(H22)より

- 駐車台数 = 最大同時滞在者数 × 自動車利用率 ÷ 同乗者数

$$= 875 \text{ 人} \times 78.7 \div 100 \div 2.86 = \text{約 } \underline{240 \text{ 台}}$$

また、現況の利用において、夏場のプール利用対応のため臨時駐車場台数を約100台分設置していることから、本計画においても約100台を常設の駐車場として確保するものとする。

